

奨学生との結びつき

奨学金証書

支援する奨学生の写真と報告書が年に1回8月頃、EDFから届きます。奨学生の成長を3年間で3回届く写真で確認していただけます。



ニュースレター

EDFで行った活動の報告をはじめ、特に在タイ日本の奨学金提供者が気軽に参加できるチャリティイベントなどのご案内を中心にしたニュースレターを年に4回お送りします。

現地の奨学生の学校と家庭訪問

ご自分が支援している生徒の学校と家庭を実際にご覧になりたい方に現地訪問の手続きをします。



文通

ドナーが手紙のやり取りで自分の支援している生徒と交流できます。タイは中学で英語を学びますので簡単な英語のやりとりが可能。日本語で手紙を書く方は日本語・タイ語の翻訳サービスもご利用いただけます。

奨学金以外のプロジェクト

奨学金以外にも、様々なプロジェクトを実施しています。

- ・ 一校一事業(OSOP) — タイ東北の中・高校を対象に地域資源活用事業を助成 (有機農業や給食提供他)
- ・ 障がい児への車椅子提供・奨学金提供
- ・ 飲料水 (飲料水の水質の改善など)
- ・ 校内施設 (図書室、トイレ等) の設置・改善
- ・ 自転車通学 — 奨学金と自転車の提供
- ・ ICT開発 — コンピュータセットを設置し、技術習得実行

*上記以外でも、ご希望で提案により各種特別プロジェクト推進のご相談を承ります。



トイレ整備



コンピューター提供



車いす提供

支援者の声



向井亜紀さん
タレント

長く支援すること。一人でも多くの方に支援いただくこと。それが大切なことです。支援ができるとなると嬉しくて、最初はおこづかいをためて何十人もの子どもを支援しようと思っていたのですが、主人(元格闘家の高田延彦氏)と「ある年は100人分でも翌年はゼロというのではなく、長く支援することに意味があるのではないか。その上で、一人でも多くの方に支援してもらうことが大切じゃないか」と話し合いました。今では、私個人の支援以外に、彼が経営する高田道場にも募金箱を置いて、少しずつ支援し続けています。

ダルニー奨学金の元奨学生



スナワン・ブンナムさん

私はスナワン・ブンナムと言います。私は、中学1年から3年まで(1990年から1993年まで)の3年間の奨学金をもらいました。現在、私は私の実家のカラシン県のタムボン地方行政局の教育、宗教、文化の分野におけるリーダーです。仕事の内容は例えば、小さい子どもを世話する施設の管理、学校における政府からの援助についての業務、宗教の維持・さらにはスポーツやレクリエーション、そして管轄地域内の観光、などの活動を奨励することなどです。私は、このタムボン地方行政局の支援を受けて、大学院において教育管理の分野の課程も修め、修士号も得ることができました。現在は結婚もして子どもが二人います。

私は奨学金を寄付して下さったすべての方に深く感謝します。首都や大都市に住んでいる恵まれた生徒たちに負けないだけの教育を受ける機会を与えてくれたからです。ご寄付いただいたお金は1パーツといえども無駄にはしていません。私たちの人生に本当に有益でした。お寺の本堂や講堂を建てても、いつか朽ちる日が来ますが、人類が知識を蓄えることは、繁栄につながると私は信じています。もう一度心からお礼を申し上げます。

奨学金担当の先生の声



アムソン・シーカーコム先生
ウドンターニー県第1区教育事務
局教育専門担当官

「私自身の経験から、以前と比べて、今の子どもたちは中途退学する傾向が増えていると思います。貧しい家の親御さんは、しかるべき時期が来る前に、子どもたちに学校をやめさせてしまいます。これは子どもたちの教育資金を担うことができないからです。あるいは、子どもに家計を助けてもらうために現金収入のある仕事に就かせたいと願っているところもあります。特に中学2年3年になると肉体労働ができる身体つきになってきますからね。またもうひとつ、重要でありながら見過ごされている問題として、通学費用の問題があります。中学/高校は町の中心部にあるのが普通で、田舎の子どもたちは小学校を卒業したあと、中学校に通いたくても交通費がないので通うことができないのです」



The Education for Development Foundation
มูลนิธิกองทุนการศึกษาเพื่อการพัฒนา

The Education for Development Foundation (EDF)

50 Kasetsart University Alumni Building, 3rd Fl.
Phaholyothin Rd., Jatujak, Bangkok 10900, THAILAND

Tel : (+662) 579-9209-11 (タイ語)
(+662) 942-8538 (日本語対応)

Fax : (+662) 940-5266

E-mail : public@edfthai.org



www.edfthai.org/jp



The Education for Development Foundation
มูลนิธิกองทุนการศึกษาเพื่อการพัฒนา

子どもの中学校就学の夢を叶えるために、
「ダルニー奨学金」が生まれました。



こんな笑顔を
みんなの力で...

1987年にタイで生まれた「ダルニー奨学金」は、財団法人地域開発教育基金 (EDF) の運営により、中学就学の支援をしています。

www.edfthai.org/jp

ダルニー奨学金のはじまり



1987年、秋尾晃正(弊財団副理事長)は、慶応大学の留学生サクダ・スイサンコム(弊財団理事)が故郷のタイ東北地方ウドンターニー県に帰省する際、同行して初めて同地方の村を訪れました。村人は日本人を暖かく迎えてくれました。しかしここはタイで最も貧しい地域で、小学校を出ただけで働きに行かされる子どもが多いと聞き、胸が痛みました。その子どもたちの進学支援をしたいという気持ちを強く持った秋尾は日本に「日本国際交流センター」という団体を設立し、「ダルニー奨学金」を始めました。この名前は村で親しくなった女の子、ダルニーちゃんにちなんで付けました。同年にタイにも「ダルニー奨学金」を運営する「地域開発教育基金(EDF)」を創設しました。

EDFは公益法人第255号として財務省の認可を受け、財団化しています。学校に通うことが出来ない子どもたちに人間として基本的な教育を受けるチャンスを提供する、基礎教育支援を通じて将来、自分の可能性を最大限に発揮し、自分の故郷の発展に貢献できる人材として育成することを目的に、貧困問題の解決、開発教育、国際理解への支援事業を展開しています。

EDFの活動目的

EDFでは、1987年からタイ東北地方19県(現在20県)において、僻地の農村に住む貧しい子どもたちを支援して、奨学金事業や様々な教育開発活動を行っています。地方公共団体、民間団体、タイ東北部全20県の各県の学区の事務局教育支援部との良好な協力関係のもと、この地域に住む子どもたちが少なくとも義務教育段階(中学1年～3年まで)だけは修了できるように支援を続け、現在までに当該学区3,500校以上の中学へ、延べ280,000人ももの貧しい子どもたちに中学就学の機会を届けることができました。

また現在、低所得国への支援事業の一環として、EDF-Japan、EDF-Lao、EDF-Cambodiaと連携協力し、奨学金事業・教師育成事業・しょうがい児教育支援事業等を通じて、ラオス・カンボジア両国の子どもに対しても義務教育支援の活動を行っています。



奨学金事業について

奨学金提供期間
 ・ 中学3年間

奨学生の選考基準

- ・ 成績ではなく、「より貧しい」が基準。
- ・ 公務員、区長、村長の子でないこと
- ・ 現地の県の学区の事務局教育支援部や地元教師が、選考委員として厳正に奨学生を選考。
- ・ 世帯の年収が25,000バーツ以下の貧困家庭であること。
- ・ 本人に中学進学の意味があり、品行方正であること。

奨学金の使途

- ・ 制服、教材、文房具、運動着、靴、交通費などの費用に使われています。学生の銀行口座に振り込まれ、教育費としてのみ奨学生と担当教師との連名で引き出し可能。



奨学金タイプの説明

奨学金は一人の子どもに対し1年間2,000バーツを原則として、A、B、Cの3つの支援方法があります。

- ・ **Aタイプ 3年間を一括お支払い**
一人の子ども3年間の奨学金(6,000バーツ)を、全額一括してお支払いいただく方法です。
 - ・ **Bタイプ 3年間で1年分ずつ3年継続してお支払い**
3年間分一括して納入するのではなく、1年間分(2,000バーツ)ずつお支払いいただく方法です。
 - ・ **Cタイプ 今回1回限りのお支払い**
1回限り1年分(2,000バーツ)のみの奨学金をお支払いいただく方法です。但し、この場合は同じ生徒を継続して支援できません。
- * AタイプとBタイプは原則として3年間同じ子どもを支援できますが、生徒側の事情による退学などで、別の奨学生に変更となることがあります。

寄付金の送金方法

右記の申込書にご記入の上、所定の方法でご送金下さい。

- ・ **小切手(Personal Check, Cashier Check)によるお申込み**
Crossed Checkを申込書と共に下記送付先へ送付。普通郵便可。
- ・ **三菱東京UFJ銀行でのお振込み**
振込先: 東京三菱UFJ銀行バンコク支店
口座名: [The Education for Development Foundation \(EDF\)](#)
口座番号: 006696
注: 振込人氏名住所を必ず振り込み依頼書に記入、同時に申込書を窓口へ提出。
- ・ **Donation Point(東京堂書店、フジスーパー、クラブタイランドカフェ)**
以上のDonation Point店頭、カウンターで申込書に現金を添えてバンコクで申込可能。Donation Pointから仮の領収書を発行します。
- ・ **クレジットカードによるお申込**
申込書に記入、署名後下記送付先へご送付下さい。FAX可。
- ・ **タイの銀行口座への振込**
口座名: [The Education for Development Foundation \(EDF\)](#) (Saving Account)
振込先と口座番号
 - ・ **Siam Commercial Bank, Ngamwongwan Branch, 319-2-77744-8**
 - ・ **Bangkok Bank, Bangkhen Branch, 161-456698-0**
 - ・ **Thai Farmer Bank, Bangkhen Branch, 070-2-45369-0**

注: 銀行からもらう振込依頼書写しをご記入済の申込書と共に下記の送付先に郵送下さい。FAXかEmail可。

申込書等の送付先
宛先 [The Education for Development Foundation \(EDF\)](#)
50 Kasetsart University Alumni Building, 3rd Fl.
Phaholyothin Rd., Jatujak, Bangkok 10900, THAILAND
Tel: (+662) 579-9209-11 (タイ語), (+662) 942-8538 (日本語対応)
Fax: (+662) 940-5266
E-mail: public@edfthai.org

ダルニー奨学金申込書

申込日 _____	
登録番号	すでに登録番号をお持ちの方はご記入下さい
お名前(漢字)	団体・グループ名称可(最大32文字)
お名前(ローマ字)	Mr./Ms. E-mail
タイのご住所 □ **	Tel: _____ Fax: _____
タイのご勤務先 □ **	Tel: _____ Fax: _____
日本のご住所 □ **	Tel: _____ Fax: _____
タイ滞在のご予定	あと _____ 年 _____ ヶ月位

**報告書の希望送付先に印をお付け下さい(1箇所のみ)。
 ***タイのご住所で返送された場合や帰国された場合、日本のご住所に報告書等を送付致します。

奨学金支援のご希望タイプ記入欄	送金方法記入欄
<p>● Aタイプ: 3年分一括</p> <p>6,000バーツ x _____ 人分 = _____ バーツ</p>	<p><input type="checkbox"/> 小切手</p> <p><input type="checkbox"/> 三菱東京UFJ銀行 入金日: _____</p>
<p>● Bタイプ: 3年分分割の新規(1年目)</p> <p>2,000バーツ x _____ 人分 = _____ バーツ</p>	<p><input type="checkbox"/> Donation Point</p> <p><input type="checkbox"/> 東京堂書店</p> <p><input type="checkbox"/> フジスーパー</p> <p><input type="checkbox"/> クラブタイランドカフェ</p>
<p>● Bタイプ: 3年分分割の継続(2年目か3年目)</p> <p>2,000バーツ x _____ 人分 = _____ バーツ</p>	<p><input type="checkbox"/> クレジットカード</p> <p><input type="checkbox"/> VISA <input type="checkbox"/> MASTER <input type="checkbox"/> JCB</p> <p><input type="checkbox"/> その他 _____</p> <p>カード番号: _____</p>
<p>● Cタイプ: 単年度のみ</p> <p>2,000バーツ x _____ 人分 = _____ バーツ</p>	<p>□ _____</p> <p>□ _____</p> <p>□ _____</p> <p>(表の全16桁とカードの裏のサイン用の紙の上にある7桁の数字の最後の3桁)</p>
<p>● Dタイプ: EDF タイ事務局への寄付</p> <p>_____ バーツ</p>	<p>有効期限: _____ (MM/YYYY)</p>
<p>● Eタイプ: 任意の奨学金寄付</p> <p>※寄付金は取りまとめて奨学金にします。</p> <p>_____ バーツ</p>	<p>署名(手書き): _____</p>
<p>合計: _____ バーツ</p>	<p><input type="checkbox"/> タイ銀行振込 入金日: _____</p> <p><input type="checkbox"/> Siam Commercial Bank</p> <p><input type="checkbox"/> Bangkok Bank</p> <p><input type="checkbox"/> Thai Farmer Bank</p>
<p><input type="checkbox"/> 男子 _____ 人 <input type="checkbox"/> 女子 _____ 人</p>	<p><input type="checkbox"/> その他: _____</p>

ご協力方法

企業としての寄付・協力

企業の社会貢献活動の一環として、以下のような例があります。

- ・ 企業の名義で6,000バーツで3年間1人の学生に支援できる奨学金提供
- ・ 経常利益の1%相当額などを社会貢献活動として寄付
- ・ ゴルフコンペ、年末年始事業、または周年記念事業によってまとまった寄付を実施
- ・ 社内の組合や社会サークルや従業員募金により寄付
- ・ 企業としてまとまった規模の資金で独自のプロジェクトを支援したいといったご要望がある場合は担当までご相談ください。
- ・ 社内内に募金箱やパンフレットスタンドの常設



社員による校内での活動



奨学金と自転車寄付



社員による図書館改善

個人による寄付・協力

- 1) ドナーとしての寄付
 - ・ 6,000バーツで3年間1人の学生に支援できる奨学金提供
- 2) ボランティアとしての活動協力
 - ・ 募金箱を設置するところの紹介
 - ・ 広告・記事掲載のためのコンタクトとEDFが参加するイベントの紹介をするPRボランティア
 - ・ タイ語か英語から日本語に翻訳するボランティア